

平成17年12月 定例会市議会

平成17年第5回市議会定例会は、12月2日から20日までの会期19日間で開かれました。公共施設のアスベスト対策費や神辺町に係る引き継ぎ予算、職員給与改定などを盛り込んだ総額73億5600万円の一般会計補正予算案や、合併に伴う市議会委員会条例の一部改正案など147議案を原案どおり可決しました。

また、子どもの安全な環境づくり対策の強化を求める意見書案など5件の意見書案を可決しました。

この定例会では、各会派の議員が議案や市政全般について質問を行いました。これらの概要は、次のとおりです。

新春のごあいさつ



議長
小川 貞和

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本市は今年3月1日に神辺町と合併し、人口約47万、面積約51.8km²の名実ともに備後の中核都市となります。

現在、地方分権の進む中、自

己決定と自己責任による個人的なまちづくりに努めるとともに、安心・安全を重点施策に位置付け、市民と行政による協働のまちづくりを進めています。

市議会としては、皆様が安心して暮らせる福山市をめざし、議会活動を展開してまいります。その内容については「市議会だより」を通じてお知らせしますので、ご愛読をお願いいたします。

皆様にとりまして、実り多い年となることを祈念申し上げます。ごあいさついたします。

昨年11月から12月にかけて広島市や栃木県今市市などで、幼い子どもを狙った殺害事件が相次ぎ、国民に衝撃と不安を与えました。

いずれも下校中の小学生女児が犠牲となったもので、小・中学生の登下校時の安全対策について、早急な取り組みが求められています。

こうした中で開会した12月議会では、全会派が子どもの安全対策や安心・安心の地域環境づくりなどについて質問しました。

子どもの安全確保策については、市議会全会派の共通認識のもと、急を要する重点課題としてとらえ、最終日には議員提案として『子どもの安全な環境づくり対策の強化を求める意見書』を全会派が一致して可決し、福山市議会の意思として、子どもの安全対策の強化にかかわる政策の早期実現に向け、国会および政府の関係省庁に送付しました。

子どもの安全確保策 ～全会派一致で意見書を可決～



また、議会の冒頭には、市長が特に発言を求め、「子どもの安全確保にかかわり、教育委員会を中心に関係部署が連携し、通学路の見直し、安全マップの作成、スクールサポートボランティアや地域の方の協力による子どもの見守りなど、総合的な取り組みを進めている。現時点の対策として来年度から新1年生に防犯ブザーを配布、子どもの安全対策を重点課題とし、全市を挙げて検討し、来年度予算に反映する」など、子どもの安全対策について積極的に対応することを明らかにしました。